（年中無休刊）　大正七年二月十日　THE KEIJO NIPPO　第三千七百三十二號　（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）

京城日報

二月九日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

○獨逸勢力東漸傾向
西伯利亞九分通り過激派の勢力

トムスクに於る西伯利亞國會の中にも內訌起り過激派の勢力漸次加はり來る傾向あり現時總和派の勢力下にあるはチタのみにて今や漸次西伯利亞を通じ九分通り迄は過激派の勢力に歸し居るの現狀なるを以て獨逸勢力の東漸は益々之を豫期せらる可き形勢に在り（哈爾賓電報）

○獨人浦鹽に入り込む
獨探露國將校を使嗾して畫策す

浦鹽歸客の談に曰く「昨今浦鹽に續々獨逸人入り込み來り延取引にて盛んに獨逸品の賣込みを爲し露人間に歡迎せられつゝあり同時に多數の獨探入り込み露軍將校を使嗾して何事をか畫策し同地に收容し居りし獨逸捕虜を大部分解放し且つ武器迄貸與しつゝあり」と（敦賀電報）

○革黨軍司令部占領

芬蘭革命黨は白衛軍司令部を占領せり（露都電報）

○東清鐵資金差押

東清鐵道本社の露亞銀行及び大藏省に於ける資金は過激派の爲めに差押へられたり爲めに一切の註文不能となれり（哈爾賓電報）

○英國輸送船貸與

英國は米國軍隊の輸送を迅速ならしむる爲め百萬噸の船舶を米國に貸與せり（倫敦電報）

○米政府大豆徵發

米國政府は日本及び滿洲產大豆二千萬封度を徵發せり（桑港電報）

○船越少將羅馬行

聯合國海軍會議日本代表者船越少將は巴里を經て羅馬に赴けり（倫敦電報）

○山公平田子訪問

山縣元帥は八日平田子を逗子の別邸に訪問し即日小田原に歸臥したり時節柄一般の注意を喚起せり（東京電報）

●講和再開顛末
委員會開始提議

トロツキー氏二十九日朝ブレスト著同氏の請求に依り翌三十日より講和會議を再開す維納電報に據れば大要左の如し

タラツト、パシヤ司會し委員の變更に關する通告を求めキユールマン氏はバヴリア委員の參加を報告しトロツキーは露國委員の追加並に既報の通りウクライン

▲共和國代表者二名露國委員中に加はりしことを述べ說明して曰くウクライン共和國勞農兵會は三名の代表者を露都に送り內二名露國委員中に加はりブレストに來れり若し在來の委員にしてキエフ政府の全權を有するに於ては今後も尙ほ談判に參加するに反對せずと雖もウクライン中ドネツ、ニカテリースラフ、カルコー、フボルタワ等の地方に勞兵會の勢力增加せしを以てキエフ政府在來の代表者の締結せる協定はウクライン共和國の意思と認むる能はざるべしと次にブレストに留まれるウクライン代表者は委員出發前其の全部歸來まで

▲政治問題を 議せざることに付きカルコフ代表者の參加に關する露國委員の宣言に付ては同等委員の全部歸來まで態度を留保すと述べキユールマンは四同盟國側を代表しキエフ代表者の歸來までトロツキー氏の宣言に關する討議をなさゞる希望を述ぶると同時に露國全權が曾て在來の委員以外の者がウクラインの名に於て談判に參加するを認むべきことに關し何等言及せざりしことを指摘し結論としてウクライン共和國の存在に關しては何人も異議なし但し國際上同國を代表するの權利に關し二個の競爭團體あり四同盟國は之を問題を

▲講究すべし と云へりトロツキーは從來キエフ代表者以外に及ぼせざりしは同國勞農兵會が其の意思を決定せざりしによる兩團體中孰れかウクライン共和國を代表する權利ありやの問題は兩團體の爭鬪の結果に依り決定せらるべしと宣言せり次でチエルニン伯はキユールマンの說に贊成する旨時日の空費を避くる爲め右七問題に關する委員會の討議開始を提議しトロツキー之に同意せり（巴里經由露京電報）

本紙定價　一部金[illegible]　一ヶ月金[illegible]
廣告料金　[illegible]
京城太平町通一丁目　發行所　京城日報社
電話　[illegible]
發行兼編輯人　[illegible]
印刷人　[illegible]

◎總督訪問
艦長以下

練習艦千歲艦長白根海軍大佐及び同艦機關長は九日午前十一時總督府に長谷川總督を訪問し敬意を表せり尙同艦乘組海軍機關少尉候補生四十名は同日午前十一時三十分同じく總督府に長谷川總督を訪問し敬意を表せり

◎總督邸午餐會

長谷川總督は九日午後零時半總督官邸に白根千歲艦長、園田同機關長を招待し午餐會を催ほし古海警務總長、釜屋、高橋兩武官、齋藤大島兩副官、神田秘書官等列席せり

◎海軍將校招待

長谷川總督は九日午後零時半京城ホテルに千歲艦將校九名機關少尉候補生四十名を招待し午餐會を催し主人側よりは工藤總務課長外六名出席本間事務官は一場の講演を爲したり

◎香港の解禁
實質は輸出制限

香港英國政廳の輸出禁止問題に就ては三井物產京城支店入電により既報せしが其後某所に達せし情報によれば禁止區域は日本、朝鮮、臺灣、大連、青島にして禁輸主要品は鋼、鐵、黃麻袋其他となり一部商人の不便尠なからざりしが二月一日より解禁されたりと但し日本に於ける輸入業者には新に在東京英國大使館及び領事館より保證金の提供を請求するを要し又輸入業者の名稱を電報にて香港政廳に通告したる時香港の商人は輸出の許可を得るものなりと云ふが禁令を解きしと雖も斯かる手數を要するものとせば依然禁令同樣の狀態にありと云ふべしと

◎朝鮮製鐵保護

朝鮮に於て一の製鐵所に一年三萬五千噸以上の製鐵能力又は製鋼能力を有する設備を以て製鐵事業を營まんとする時は土地收用令により土地の收用を行ひ得る事となり最近制令第三號を以て公布されしが其の製鐵事業の範圍は銑鐵、鋼鐵、鍊鋼、鋼材、鍛鋼製品若くは鑄鋼製品の素材又は副生物の製造に關する事業なりと

◎赤十字社員拜賀

赤十字社朝鮮本部にては十一日紀元節當日午前九時より十一時迄同事務所に御眞影を奉揭し社員有志の拜賀を受くべし

◎赤十字有功章親授

本年五月に於ける赤十字社總會舉行の日總裁宮殿下御臨席の下に於て功勞又は篤志有功章並に特別社員章を親授あらせらるべきに依り該當者にして御親授希望の向は朝鮮本部又は其支部宛申込むべしとなり

◎群山港の打擊
商船の連長航路廢止

大阪商船會社にては本年三月限り大連長崎間の定期航路を廢止する事となりたり右に付長崎にては同會社其他に對し航路繼續運動を試み居れるが同航路は往航に於て群山に寄航しつゝありたるに群山輸移出品の大宗たる米穀は同航路により大連に輸出され其の數最も少なからず年々增加を示し來れるにも拘はらず來る三月限り同航路の廢止せんか群山大連間の直上連絡は全く斷絶するに至り群山米の大連輸出上蒙むる所の打擊は少なからずとて群山商業會議所は大連に向け長崎同樣航路繼續運動を依賴したりと

◎好景氣の鮮銀
半期の重役賞與六萬五千圓

朝鮮銀行近時の躍進的發展は銀行界でも評判だが、其の營業の膨脹に伴なひ純益金も素晴らしい率で殖えて居る▲十八日に株主總會を開く、其總會に提出される決算案を見ると大正六年下半期の純益は九十萬圓を計上し配當を八分にし色々の積立金も增加してゐるが、それに伴なひ重役賞與及び交際費も六萬五千圓と云ふ多額を計上してある▲半期に六萬五千圓と云へば一年十三萬圓と云ふ割合だ、內地の大會社大銀行では必らずしも珍數と云へぬけれど、殖民地の會社としては、滿鐵並に臺灣銀行位だらう▲鮮銀と並稱される東拓の本年度の決算は目下作製中でどう云ふ狀態を見せるか未だ明らかでないが、前年の決算を見ると重役賞與は四萬圓である可なり違ふ▲京城實業界でも鮮銀の賞與は多いなど羨やんでゐる人もあるが、鮮銀の某氏に聞くと[illegible]純益も增加した、[illegible]では重役賞與は純益の百分の十までと云ふ事になつてゐる乃ち今期は九萬圓頂戴しても差支へないのだ、然し銀行當局で七分見當の六萬圓にしたのだ▲[illegible]朝鮮銀行當局は三期までの重役賞與は三千圓で過したものだよその事▲成程さう言はるれば大正五年上半期たる第十四期の決算は純益四十八萬圓、賞與三萬三千圓で今期の半分に過ぎないやうだ▲而して前期たる大正六年上半期は純益金六十一萬圓で賞與四萬四千圓となつてゐる▲此半期の間に賞與が二萬圓も殖ゑたのは鮮銀が強勢なので、從つて行員も賞與が多かつたらしく皆ニコ／＼してゐる

◎鄭家屯鮮銀開期

鄭家屯に支店設置の事となりし鮮銀出張所は目下切りに創立準備中にて開業は二月二十日若くは二十五日の豫定なるが所長は本店檢査局の岸本氏に決定し氏は既に一兩日前鄭家屯に向ひたりと

□關釜間の貨客增加
舊正月と鮮人の歸來

世界大戰以來內地事業の勃興と共に海陸兩方面の貨物停滯は到る所其聲高きも關釜間の貨物は昨年秋季以來臨時貨物船の增航と一方十月以來一部貨車の增結の爲め急送貨物は大部分片付たるも尙今下關驛頭に停滯しある貨物は約一萬噸內外を下らず尤も其の內には客の五千噸をも含み殘餘の大部分は大豆、肥料、米等にて當局は努めて輸送の便を計りつゝあり此場合に於て鮮滿內地の年末年始と更に鮮地の舊正月の關係より關釜間の旅客は一層增加し一方殖民地相手の細江郵便局の如きは賦客品の爲め小包の增加を見るに至り昨今の下關驛頭は冬枯知らずの活氣を呈し居れり

▲貨物の集散 貨物の集散は一時の停滯なく增進せるが上に舊暦の正月關係にて關釜間を中心に一般の取扱は著しく增進し客月中朝鮮北滿行を主とし砂糖の發送は八百八十六噸にて前年の四百六噸に比し四百八十噸の激增を示し居れり發送の總噸數は一萬五千四百五十一噸にて前年の一萬二千六百四十二噸に比し二千八百九噸の增加にて之れが主なる增加物品は米、麥粉、鮮魚、干魚、砂糖、石炭、油類、肥料等にて何れも三割以上の增加なり、到著貨物は一萬一千二百四十一噸、前年は八千三百六十三噸にて、即ち二千七十八噸の增加なり其主なるものは朝鮮米首位を占め次は大嶺の石炭、朝鮮の鮮魚乃至は北越地方の油類尤も著しきものなり

▲關釜往來人 關釜間往來は年末年始の關係と時候の變遷に依つて一定せざるも昨秋以來降客の著しく增加せるものは毎船便に鮮人の內地働きの爲め五十人乃至百人の上陸大いに原因せり尤も來る十一日は朝鮮の舊正月元旦に當するを以て昨今五人乃至八人宛歸國するものあり今後漸次增加すべく而して客月中の關釜の往來は降客一萬二千三百九十四人、乘客九千四百六十四人、手荷物合計七千二十二個、十二月に比し稍や乘客の增加せるは滿鮮居住の內地人が新年を終へて再渡航の多少增加せるが爲めなるべし

▲關釜連絡小包 細江郵便局扱小包は矢張り舊暦の年末年始に大關係を持ち其數に於ての增減は著しく差異を見る事あるが客月中の取扱は朝鮮行一萬四千八十二個、滿洲行一千九百九十五個、之れは十二月に比し多少減少せるも更に本月に入て一層增加の見込なりと（門司）

◎京畿地方費徵收狀況

京畿道に於ける大正六年十一月末現在地方費賦課金徵收狀況を觀るに調定額十一萬八千二百十一圓に對する收入額九萬七千五百七十二圓にして收支步合八割二步在庫を示せり右の內

▲市街地稅 一萬三千百十六圓の調定額に對し[illegible]の收入あり此の收入步合[illegible]
▲營業附加稅 一萬八千七百二十九圓の調定額に對し[illegible]の收入あり此の步合[illegible]
▲市場稅 [illegible]
▲屠場稅 [illegible]

◎鐵道運轉增加

朝鮮輕便鐵道會社に於ては從來大邱河陽間往復なりしを貨客の增加に依り今回五往復となす事に決し九日より之を實施する筈なるが改正後に於ける大邱河陽間發著時間表左の如し

大邱發		河陽著	
午前	七時十分	午前	[illegible]
同	九時[illegible]分	同	[illegible]
同	[illegible]	同	[illegible]
午後	一時[illegible]分	午後	[illegible]
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

外に八時二十五分河陽發の不定期列車ありと（大邱）

◎米穀檢查と鐵道

朝鮮總督府は北滿其他より搬出せんとする大豆に對しては兼て北滿に於て檢查施行の事になり居たるが今回滿鐵京城管理局に於ては倉荷證券面に一般荷主の便宜を圖り倉荷證券面に檢查合格又は不合格若しくは檢查未濟の區別を明記する事とし荷主より檢查未濟の物に對しては證券面に記載方請求ある時は檢查月日及び等級を記入することゝなれり

▲屠畜稅 二萬四千九百二十七圓の調定額に對し二萬四千[illegible]二十七圓の收入にして完納なり

◎鑛業會理事會

朝鮮鑛業會にては來る十七日午前評議員會を開き定款豫算及び決算並に事務所等に關する件を評議したる上法人組織の手續を爲す筈なるが右評議員會の下準備として九日午後一時より理事會を開けり

◎森安博士出發

總督府醫院內科長森安連吉氏は九州に出張を命ぜられたるが九日朝南大門驛發列車にて出發福岡へ向へり

◎小原長官微恙

小原農商工部長官は微恙の爲去七日より引籠靜養中なり

◎高橋武官東上

總督附武官高橋陸軍少將は公務を帶び不日東上の筈なるが其用向は參謀本部陸軍省等と普通事務打合せの爲めなりと

◎遠藤所長歸任

事務打合せの爲め東上中なりし遞信局爲替貯金管理所長遠藤達氏は七日午後九時南大門驛著列車にて歸任せり

◎川上理事東上

東拓京城支店理事川上常郎氏は決算期切迫に付本社に於ける重役會議に列席の他經營事業上の要務を帶び十一日午前八時四十分南大門驛發列車にて東上する由なるが滯京は一ヶ月內外の豫定なりと

◎大田理事來京

滿洲鮮銀支配人大田三郎氏は九日夜入京の筈也

◎大原嵐夫氏入京

東京詰鮮銀秘書役大原嵐夫氏は一兩日前入京したるが同氏は秘書役を解かれ歐米出張を命ぜられし者なるが目下[illegible]旅館に滯在中なるが十二三日頃東上すべしと

◎清水秘書役發期

東拓秘書役清水常吉氏は十二日朝出發東上の豫定なりしも都合上一日を繰上げ十一日午前八時四十分南大門驛發列車にて南行する事となりたりと

◎阿部社長東上

阿部本社長は郷里の先輩なる宗像上院議員逝去の訃に接し九日朝發列車にて急遽東上せり

仁川

▲記念祝賀會 既報の如く九日の仁川海戰記念日に際し官民七十餘名は東公園八阪樓に於て盛大なる祝賀會を開き碇泊中の千歲乘組將校十餘名を招待せり

▲仁川神社報告祭 仁川神社に於ては九日午前十一時より海戰記念報告祭を執行し府尹以下官民の參拜ありたり

▲小學校講演會 仁川公立小學校に於ては入港中の千歲水雷長海軍大尉石井邦夫氏に請ひ海戰に關する一場の講演を聞けり聽衆は各學校生徒其他なりき

群山

▲教育會議 群山教育會にては九日午後三時より群山小學校講堂に於て總會開催の由なるが議案は群山教育會に對し群山小學校生徒奬學資金として熊本利平氏よりの金一萬圓寄附と今回群山普通學校生徒奬學資金として佐藤政次郎氏よりの金一千圓寄附に關し給與規定を附議するもの

▲水產合同解決 既報群山水產市場の合同問題は昨日來有力者の熱心斡旋と兩當事者の誠意を以て互讓妥協の結果去る五日を以て合併問題は無事解決を見るに至りたり

▲局長來群 京城管理局長久保要藏氏は運輸事務其他視察を兼ね從業員慰問の爲め八日午後五時三分著列車にて來群一泊の上翌日二番列車にて臨任の豫定

馬山

▲果樹蔬菜講習會 馬山府にては本道より淺田寺田兩技手出張四日より果樹蔬菜の講習會開催中なりしが八日を以て終了し四日修業證書授與式を舉行せり

▲經濟調査 馬山方面に於ける經[illegible]

◎利酒會

馬山酒造組合にては去る四日望月樓に利酒會を開き道技手之が品評を行ひたるが折柄當地出張中の横井第二部長も來會せり

▲購買組合組織計畫 馬山[illegible]物價が客を不均せず比較的高價なるを以て官民の多數は購買組合を設置し大阪其他より直接廉價のものを購入せんと目下計畫中の由

▲宅地の水田を開拓すべく密陽郡の朴海祿外數名より其筋に出願中

◎警察官辭令（六日附）

命慶尙北道警察部勤務　慶尙北道警部　[illegible]
補[illegible]警察署長　京畿道[illegible]　小南利一

◎陳列館觀覽者數

一月中の觀覽人員を聞くに內地人六百七十六人、鮮人一千二百二十八人、外國人[illegible]人合計一千九百[illegible]人にして當月中の開館日數二十二日に割當つれば一日平均八十七人の觀覽者ありたる計なり

人事消息

▲櫻井房次郎氏（元山稅關長）九日朝入京[illegible]
▲川島清太郎氏（元山地方法院檢事）同上
▲白木[illegible]氏（[illegible]）九日夜[illegible]へ
▲末永[illegible]氏（[illegible]）九日朝[illegible]へ
▲郡山智氏（總督府技師）大邱、慶州、木浦へ出張を命ぜられ八日附を以て往復二十三日間の豫定
▲林繁藏氏（總督府事務官）[illegible]二十三日間の豫定
▲阿部誠氏（[illegible]）八日附十日間の豫定にて[illegible]へ出張を命ぜらる往復十五日間の豫定

大阪だより

△製粉不渡と今後

當地製粉界は一月限の受渡しの製粉不渡しを暴露するに至りたる結果殿神戶に會合し善後策を講じつゝあるも小田原評定にて何等の決定を見るに至らず遷延たる有樣なるが二三月限に於て買方の地盤に立ち居れる關係より右の不渡問題は延いて四五月限の方にも及ぼす所甚だ多少にあらざれば之が解決の結果如何によつては買方鈴木の軍門に降伏を餘儀なくせしめらるゝに至るやも測り知れざるべく不渡解決方法如何は蓋し斯界の重大案件たるべし

△米作平年以上

昨年度稻作は九月三十日より十月一日に亙り暴風雨の被害ありたるのみならず秋季に際し雨天勝ちなりし爲め收穫高に於て著しく減少すべく懸念されしも夏季に於ける氣候適順なりしを以て其收穫高五千四百五十六萬三千五百五十七石に達し之れを第二回豫想高に比すれば僅少なる減收にして二十九萬八千六百十[illegible]

△不渡手形減少

[illegible]一月中の[illegible]不渡手形は[illegible]枚數九十三枚金高七萬[illegible]七十二圓にして前月より一萬[illegible]最も不渡多きは東京の[illegible]百圓京都の一萬圓[illegible]なり

△米棉の反動

[illegible]某所入電米棉紐育市場は一日[illegible]一圓六十錢の暴落を[illegible]日發一點に一圓[illegible]用棉商を入れたり[illegible]なるも米棉[illegible]ける調節[illegible]輸出さるべきもの[illegible]るものなるを以て[illegible]に低下すべき[illegible]べしと觀測し居る[illegible]

△石炭運賃低落

[illegible]合の餘威は新春に入るも[illegible]運賃の低落を餘儀なからしめたるが近時石炭運賃は益々低落を加へ門司横濱間に於て七圓を唱へ居れども實は七圓を割り居るやの噂もあり已に同地大阪間三圓十錢新潟六圓七十錢上海七圓二十錢を唱へ拔二十三圓五十錢を傳へ居りて茲暫くは此況の見込難きもの[illegible]あり其原因する處は[illegible]の故ならずして[illegible]かるべきを豫想し[illegible]る爲めに因由するもの[illegible]に來る四月は外國に傭船せられつゝある大型船舶の契約滿期に際し居れば管理令の施行は自然[illegible]腹の增多を促がし其結果一層船腹の崩落を惹起すべしとの見込み立て居るもの多きより出荷の增加を促進せざる限り前途其驚貴を[illegible]れざるべしと（大阪支局）

□門司より

[illegible]

時間表　十一月一日現行
[illegible]

京城を見學の機關少尉候補生(上)總督招待午餐會場に於ける機關少尉候補生(京城ホテル)(下)昌慶園植物本館前の芝生で辨當を擴げた水兵

空中税關を飛行機に

空中遞送は戰後は大に發達せん

交戰中の歐洲列強では軍事の必要上飛行機の製作と其の工場の擴張に大なる力を注いでゐる、然し[illegible]

▽一朝平和が 克復すると其の多數の飛行機と飛行機の製作工場と飛行機に乘る鳥人を交戰の代程多く要さなくなるのは當然の話しだが然し戰爭のため折角發達した飛行機製作工場を閉鎖して又飛行操縦者を他業に轉せしむるのは一朝有事の際並に航空界のため甚だ遺憾なりとし

▽列強は既に 戰後の飛行機利用法を研究中のやうであるが、郵便遞送の方は小包及び普通郵便の遞送用に(二)[illegible]する事に間違ひなき事のやうである。而して其の利用案として(一)郵便の甲地より乙地への遞受並に一國と一國の間にも用ゆる事となるらしい、現に既に

▽米國と佛國 の間には郵便搭載船が獨艇に撃沈され不著の事が多いからと云ふので飛行機による郵便遞送計畫が出來てゐるそれによると米佛間を約二晝夜で到達する事が出來て汽船の六日乃至十一日に比し餘程の速達である此の空中遞送は必ず戰後大に發[illegible]

▽海難救護の 方は飛行機を擁して海岸警備や艦船の遭難に備へ他により通報を得れば急速に救助に出動する[illegible]効果は少なくないであらう其他[illegible]などの飛行機は

▽十二人位の は搭乘し得るから[illegible]交通機關ともなるべく更に航空機の發達により[illegible]

千歳乘組員の京城見物

總督招待の午餐會に列す

仁川入港中の千歳艦乘組の士官及び機關少尉候補生五十三名下士以下百八名は九日午前八時十九分仁川發大門著總督府よりは川崎屬外數名出迎へ直ちに總督府に至り京城案内[illegible]公園に於て

◆京龍の眺望を恣にす [illegible]

◆鐘路通から 永樂町を經て總督府を訪問し十一時半から京城ホテルで本岡事務官の工業に就いて云ふ講話を聞いた後正午總督招待の午餐を喫して再び[illegible]通りから昌徳宮に向つた

下は鐘路通りを經て昌慶園に至り

◆猿公や河馬 や象などを他愛なく見物したが何れも規模が大きいのでホーと言って感心して[illegible]

い水兵などは早く遠洋航海がして見たいなどゝ憧れを迎す午餐は植物本館前で

◆愛國婦人會 の接待に[illegible]

梅一輪

▽奥様方は篤志看護婦に

私も三日計り出て露艦の傷病兵の看護を致しましたが却々忙しう御座いました[illegible]十八銀行支店長夫人のおはなし

飯を了へたすみ子夫人はすらりとした撫で肩へ大島の署流しに同じ羽織を襲ねて細つそりとした面窶れは心持ち嬌羞を含んで風温む初春の宵にほのかに湯氣の立のぼる茗を啜りながら「私は京城より仁川の方へ久しく往つて居ります[illegible]日暇などにはよく出掛けます、[illegible]記念日も明日でムますかね あの當時は私共只今の十八銀行仁川支店の裏で海岸に面した處の社宅に居りましたが何しろあんな際の事ですから在留民は隨分心配を致しましてあゝだこうだと色々な評定をいたして居りますと八日の晩海岸に篝火を焚きまして日本兵がどん〳〵上陸して參りまして私共の宅も皆んな兵士の宿舍に宛てられてしまいました

翌日になりますとあの通りの海戰[illegible]ヴアリヤークと大音を立て爆沈してしまひまするし[illegible]隨分凄じいものでございました[illegible]あんな光景は二度と見られるものではございません[illegible]戰日露戰役當時の[illegible]十八銀行支店長の社宅に[illegible]トリープの者に連れて行く[illegible]の記憶に繰り擴げられて[illegible]の後が又大變で奥様方は皆篤志看護婦になられまして露艦の傷病兵の看護をなさいました、私も三日計り出ましたが宅に手が足らないので止めました 子供が女ばかり二人居りますが長女は養子の觀治さんと北京の方に參つて居ります[illegible]

某事件の新生面開かん

阪北陸の旅舘京屋へ數日前より秘密に宿泊せる三名の紳士は警察に檢事局と聞き[illegible]事件に就き大阪の[illegible]

大田の火事

八日午後三時大田市街[illegible]附近の清水組出張事務所より出火し[illegible]合宿舍五戸を延燒し憲兵隊[illegible]消防に盡力の結果[illegible]鎭火[illegible]原因不明なるが損害約二千圓の見込なり(大田特電)

讀者文藝

[illegible]

課題及募集規定

[illegible]

米兵輸送船撃沈さる

二百六十七名溺死

[illegible]

腹を撚らした河豚料理

[illegible]

軍器密造

[illegible]

剃刀で咽喉を突く

[illegible]

火藥爆發

死傷者八名

[illegible]

海外派遣職工

二百廿名

[illegible]

大阪難波病院の出火

[illegible]

商況

東京期米特電 / 兵庫期米 / 大阪三品特電 / 大阪株式特電 / 大阪期米特電 / 下關期米特電

砂糖は氣丈 / 十三圓三十錢

木炭稍安下漸 / 一千俵内外

油類は小高値

白酒は昂騰

綿糸布上向く / 各限五六圓方跳上

製粉更に昂騰

染料底強し

京城正米 / 仁川期米 / 南大門の穀 / 下關相場 / 大阪天候晴天

期米通報開始 仁川電報社

仁川米豆取引所

暴風警報

連絡船上陸客

天氣 くもり

[illegible]

◉最近の貔子窩地方
邦人製鹽全產額の八割を占む
鹽田面積七百五十七萬五千餘坪

東洋拓殖會社大連支店栗田賢氏は店務を帶び此の程貔子窩に出張せるが同地の狀況に就き語つて曰く貔子窩行きは普蘭店驛に下車し支那人の經營する貔子窩自動車株式會社の自動車あり之れに乘れば約一時間半にして十里四丁を距る貔子窩に達す此の乘車賃銀一元五角（金一圓八十錢）なり普蘭店貔子窩間の交通は自動車の外に馬車及び驢等あり此の附近各地の部落に通じ

▲一晝夜の賃銀は馬夫及び驢の宿食料先方自辨にて銀一圓五十錢位にて極めて低廉なるものなり各村落到る處我が警察署の派出所あり近來州內には殆ど馬賊の出沒なく旅行は極めて安心なり貔子窩には金州民政支署貔子窩出張所を始め郵便局、小學校、公學堂等あり邦人居住者は民政署出張[illegible]管內にて戶數四百七十八人口千四百二十八を有せり目下重なる商店は

▲雜貨商一一　旅館一　藥種商二　等なり同地に於ける日支人共同の貔子窩銀行は資本金十萬圓五萬圓の拂込みを爲し四月一日より營業を開始する豫定にて頭取に同地公議會長韓世德監査役に關乙桂、宮貞鮮助、專務取締役に西山國一の各氏決定着々行務を運び居れり貔子窩管內は關東州內第一の製鹽地にして碧流河、東老灘、夾心子、貔子河等の

▲四個所にして鹽田は貔子窩の東方約一里の貔子河より碧流河に至る約十里間に連續し在り鹽田は海陸共に運輸交通不便なれども鹽の搬出は專ら海運に由り即ち大潮時五六日間を利用し積出しを爲すものにして戎克船積の場合は一時に多數の戎克船を使用し大潮を利用して[illegible]荷役を行ふものにて此の地方の鹽田は二百八十六箇所にして其の面積は七百五十七萬五千餘坪にして[illegible]

▲產鹽高は　大正五年に於て[illegible]貔子河下五百二十三石[illegible]東老灘にて八萬七百三十八石碧流河に於ては二萬三千四百二十二石にして此の內貔子河を除く他の三箇所には邦人製鹽業者あり[illegible]產額の八割は邦人の[illegible]

◉蠶業試驗場　設置
▼講習會規定を發布

關東都督府は今回蠶業試驗場規定及び同講習會規定を發布し四月一日より施行する事となりたり蠶業試驗場は旅順鎭遠町に設置し民政長官の管理に屬し蠶絲業に關する試驗及び調査

▲蠶絲業に　關する講習講話及び指示並に蠶種及び桑苗の配布等に關する事務を掌り場長以下技術員事務員若干名を置き此に關する處務規定も同時に制定せられたり蠶業講習會は蠶業試驗場內に於て蠶業に關する技術を講習し其の講習期間を一ケ年とし講習生は滿十五年以上にして普通學堂卒業以上の學力を有し身體強壯にして品行方正、現に

▲蠶業に從事し居るか又は將來蠶業に從事せんとする者にして民政署長又は民政支署長の推薦せる者の中より場長選定して入所せしむ講習科目は學科と實習を兼ね學科に於ては蠶兒飼育法、桑樹栽培法、[illegible]病理、[illegible]及び夏秋蠶飼育[illegible]蠶繭の乾燥貯藏及び[illegible]等にして此の他講習生に關する規定を發せり

▲支那人子弟を募集する事と成り居れり關東州に於ける蠶業は數年來都督府の獎勵し來れる處なるが管內に於ける蠶業は在來の微々たる幼稚なる域を脫する能はざるに由り今回愈々蠶業試驗場の設置と共に講習會を開き州內の蠶業を根本的に改善せんとする計畫也

◉有望なる鐵鑛　何が幸やら

大田郡新灘津百餘里三本木文平氏は窯業原料精米用石粉製造の原料に使用する石灰岩探鑛の爲め大田郡柳川面福寺里附近の山野を跋涉中一面石灰岩らしきものを發見せず[illegible]便通を催したるより[illegible]適當の場所を選定し野糞を[illegible]準備中ハンマーを以て手近の石を[illegible]內黑色にして錆色を呈したる鑛石を發見せしより何とも鑑定はつき兼ねたるも兎も角持ち歸り其の鑛石を[illegible]大田出張所に持ち行き主任に鑑定方を依賴したるに[illegible]鐵鑛にて肉眼にても五十パーセント位の含鐵量あるべしとの事に大に喜び直ちに古川常一郎、丸尾宣太郎の兩氏と共同し約五十萬坪の鑛區を出願せしが同鑛區は鐵道線路より約千米突位にて其の一端は連山驛より[illegible]に過ぎず運搬の便良好[illegible]前途非常に有望の鐵鑛なりと

◉航權回收計畫

鴨綠江の航行權は從來露人の獨占なるが兩三年前露人は支那船が航行を許すを條件として支那側に同江の浚渫費二百萬留の出資を要求し協商纏りたるも支那側經費難の爲め其儘となり居りしが[illegible]に對し目下留貨低落して彼の二百萬留は大洋二十萬元に過ぎざれば此好機を逸せず官民協力して該浚渫費を支出し前約によりて該航行權を回收すべしと申請したるより公署に於て目下審議中なりと

◘獨逸商品が
自動車數百臺で襲來
✕もうイルクーツクまでやつて來た

聯合國側が禁輸令を實行して如何な者だと反り身になつて居る內に戰爭にも否を捲かした獨逸側では早や商戰の擾亂を狙うてリガ其他の占領地帶よりはドシ／＼商品を送り込んで邦貨に取つて代らん勢ひの凄じさは既報の通りであるが一昨日哈爾濱に在住して日露貿易を營んで居る露商某が莫斯科より[illegible]して[illegible]いて居る實見談に曰く

✕露都の上下に行渡つた獨逸商品は其後需要益々盛んとなつて最早市街全般何處の店頭にも陳べられて買ふ者も賣る者も何等憚る者が無い程に日々其數が增加して行くのであつて莫斯科なぞでは矢張り露都同樣盛んに取引が行はれて居るのは[illegible]に屬して今更繰返す必要も無い程に勢力を激增して居るのであるが兎や角と噂をして居る內に其の勢は奔流の如く今はオムスクを越でイルクーツク市の市場に現はれて

✕石油なぞは四分の一　で從來一罐四十留の相場を保つて居たのが獨逸品は移入以來僅か十留の廉價で幾許でも買ひ搬から れて居る殊に物資の缺乏に苦しんで居た處へ豐富な供給と來たので恰も／＼の容器に餅を投げ出されたのと同樣で瞬く間に猫が生れて飛ぶ樣に獨逸品が普及されて行くのであつて更に目覺ましいのは其商品普及の援護策として何時の間にやら種々な設襲して入込んだ

✕獨逸官憲が自動車數百臺を持ち込んだが孰れも最新式の輕快な物であつて其れを利用して迅速に附近の沿線に運搬して大活動を開始して居るとの話しであつたが此狀態から見ると未だ哈爾濱には獨逸商品の侵入した事實は認める事は出來ぬが遠からず同市へも現はれて長、春へも逆輸入せらるゝの日が近くに迫つて居る樣に想像さるる樣である

◉憐れな 鮮人苦力
西伯利亞から
長春まで辿りつく

去る五日午後二時頃長春關東都督府警務署へ五人の朝鮮人が見るも憐れな姿をして保護を願ひ出て來た彼等は平安北道鐵山郡生れ金尚鎭（三）平安北道義州府生れ李昌海（三）平安南道江西郡生れ林興東（三〇）同上生れ高裕京（三七）と咸鏡北道甲山郡生れ朴承律（三〇）と云つて昨年陰曆十二月[illegible]に於て邦人後藤某の募集に應じて一行二百人で西伯利亞の

▼材木伐採に出かけた所が此の種の勞働者募集には隨分インチキ者のあることは數年前から內地でも屢ば問題になつたことだが何分失業して目前に食物を望む彼等は溺れた者が藁でも掴むの例で往々引つかゝるものだが彼等もそんな類だつたらうと思はれる彼等一行二百人はシベリアの[illegible]地方へ行つて一人何坪と一日の責任を[illegible]地域を限られて働かされ[illegible]革命騷動で[illegible]食料品に窮して來たので彼等に與へる食物は

✕メリケン粉に[illegible]を混せたものを一日一回食はされる[illegible]のだから堪へ切れず忽ち體力を[illegible]してそのために解雇されることゝなり、西伯利亞線に乘せられて滿洲里迄送り還されて來た次第であるが、滿洲里から當長春迄の間は東淸鐵道の如意によつてからくも命をつなぐだけの食物を得て來たとの事である、何分五日間當地に[illegible]後途[illegible]

▼一片の食物を[illegible]と云ふ有樣なので警務署の方で取敢へず食物を與へたが、[illegible]滿鐵地方事務所長に依賴して彼等の送還方を依賴したれば近く便宜な取計ひあるべしと[illegible]

◉青島航路請願

去月廿九日鎭南浦商議所評議員會に於て議決せし案件中青島芝罘大連鎭南浦巡回航路開始の件六日附にて府廳を經て總督に請願書を提出せるが同時に朝鮮郵船會社にも同樣の陳情書を發送したり

◉迎日鯨漁不振

一時頗る盛況を極めし迎日灣鯨漁業は昨今の暖氣にて稍不漁を來し一日の漁獲高は一百同に過ぎざりしが今後に於て氣溫の低下せる際即ち本漁期に入るものにて其の上は定めて一層の盛況を呈すべしと豫想せらる

◉沙河同盟罷業
彌縫策にては不可

滿鐵沙河口工場の同盟罷業は表面平靜なるも今回の出來事は比較的強き根底を有するもの如く同盟者は各日給二日分宛を醵出して若し首謀者と目せられて處罰せらるゝ者を生じたる場合には其の勞に酬ゆるの方法を取りたる上撫順炭坑及び沿線[illegible]係工場にも密使を派して連絡を取り必要の場合には各部一齊に同盟罷業の擧に出づべき計畫あるなど傳へられ居れば今回は多少の折合に一時沈靜するも根本的に彼等を滿足せしむべき計畫に出でずんば再び之を繰返すとあるべしと事情精通者間に觀測されつゝあり

◉大連より

○關東都督府は六日府報を以て蠶業試驗場及び蠶業講習に關する規定を發布し四月一日から施行する事となつた即ち四月一日から試驗場が開設される譯である

○關東洲及び南滿洲に於ける家畜は未だ原始的狀態から脫せず其の產額の如き殆んど云ふに足らざるものである其の[illegible]四百斤を出でず從つて[illegible]一個年を通じて七百斤內外に過ぎざる有樣である

○農家の重要なる副業が斯くの如くであり從つて管內に於ける農民の生活の度は甚だ低く一般農業が殆んど日本の德川前ごろと何等の差別を認め難き程に其の進步は遲々として居る

○都督府が今回蠶業試驗場を設置し蠶絲業の試驗、調査及び指導を爲すと共に講習所に支那人子弟を入所せしめ蠶絲業に關する學理と實際とを教養せんとする計畫は聊か遲蒔きの感ありと雖も頗る結構なる事なり

○元來大連及び滿洲各地居住の邦人は滿蒙經營に關しては大なる抱負と壯なる議論を有するが如くなれども面積に比し一萬分の二百十九方里滿洲の三十四に足らざる猫額大の關東州の開發さへも未だ實績を上げて居らぬ

○滿蒙の經營とは利權獲得のみの意に非ざるなり滿蒙の同化にある我が文化を光被せしむるにある然るに猫額大の關東州內に於ても未だ其の先住土民は聊かも同化の傾向を有せず其の產業は[illegible]十年を過したる今日も十年前と大差なき狀態にて甚だ心細き次第である

○滿洲經營の議論も目先の利に[illegible]で十年も經つて來たのだから之れから多少實際の經營に着手しなければ成るまい[illegible]と云ふかも知れぬが我が主權に屬する[illegible]な土地が依然[illegible]ないか

○關東州を滿蒙の苗圃として一大試驗場とし各種產業の模範場と化した上でなければ何處を足場にして滿蒙經營が出來るか、滿蒙は經營せられても前途遼遠なるを思はない譯に參らぬ

白山黑水

▲旅順の步兵第[illegible]聯隊は旭川から來て駐屯して居るのだが此の新兵さん達は北海道から寒い風の滿洲に新兵さんがやつて來た▲此の新兵の中に八名のアイヌ人の兵隊が居る一寸見たつてアイヌ族だか大和族だか見分は勿論付かぬ▲身體は頑健で膂力強く胸から腹にかけて遺傳の毛が深い言葉は東北訛りではあるが仙臺あたりの人よりも却つて日本語の筋は良い方だ▲アイヌ族の兵士は七師團には尠くないが何れも勇敢で柔順で成績は良好であるそうだ▲近來アイヌ族も知識と財力と向上心とを有する者は言語衣食住とも內地化して內地人と見分の付かぬやうになり▲貧にして愚なる者は昔の儘でだん／＼と氷の北へ北へと生活の便を追つて進んで行つて漸次其の種族の自然の消殺に委して居るといふ

▲廣告

本年中平山、谷山ノ各法院出張所ニテ取扱フ商業其他法令ノ規定ニ依ル登記事項ノ公告ハ京城府ニ於テ發行スル京城日報ニ掲載ス
大正七年二月
海州地方法院

商業登記公告
[illegible]
海州地方法院[illegible]興支廳

商業登記公告
[illegible]
京城地方法院水原支廳

解雇廣告
森坂長太郎
右之者今般都合有之解雇候[illegible]
京城[illegible]
吉田洋服店

[illegible]一郎商店

近火御見舞
龍山[illegible]
厨川　正
桂川　榮三
吉[illegible]　國治
岡部　貫信
新井　直明

高價御買入
[illegible]
釜山草梁第三區
若井商店

古著古洋服
諸物價騰貴の折柄[illegible]
京城本町二丁目
あはじや
江頭衣服店
本店 電話一三五番
支店 電話九二七番

京釜線鳥致院
朝鮮興農園
農用種子
果樹苗木
園藝植物類
山林用材樹種
農具肥料造林請負
種苗代價表 無代進呈

◉朝鮮行貨物特約運送開始御披露

拜啓　嚴寒の候益々御清祥奉賀候每々格別の御眷顧を蒙り難有厚く御禮申上候陳者弊社儀從來鮮滿移輸入並に鮮滿行貨物取扱致居り候處今般鐵道院より朝鮮行貨物特約運賃の承認を得二月一日より開始致候に就ては之が特技と經驗を有せる從業員並に伸化を增備し最も著實なる運送を實行すべく奮勉努力機宜に適したる御理想の御取扱可仕候間御後援的御同情を以て續々御出荷被成下度此段御披露旁々御願迄如斯御座候

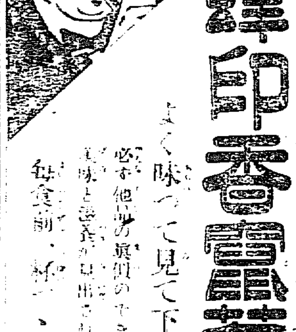
大正七年二月一日

大阪驛前
株式會社 富島組鐵道部
電話北 五五八番 五三九番
通關係 電話長土佐堀 七六四番

追て不日社員御地に出張何乎と運輸上の御協議御願申すべく候へ共不取敢紙上を以て御挨拶申上候

鴨綠江產良材を以て本社の建造する汽船、帆船、曳船、漁船、艀船類は安全第一義に海運界の最大權威たり
鴨綠江中之島
鴨綠江造船株式會社
資本金四拾萬圓
設計の完全、建造の堅牢、價格の低廉は實に本社の三大特色なり！

金牌賞牌四十四個受領
なるほど　美味である　滋養がある　と賞讚されつゝある
蜂印香竄葡萄酒
よく味つて見て下さい！
必ず他品の眞似のできぬ美味と滋養が[illegible]
毎食前一杯[illegible]して元氣健康を增進す
東京本町
近藤利兵衛



左甚五郎

第百六十四席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

条玄蕃が平内を執心して我が家の養子になさんと日向守信行に相談いたしました故、信行から此の事を平内に申し聞けると [平]「思召は忝けれど手前には父の平左衛門と申する者がありまする故他家へ養子に参る譯にはなりません」と云ふ答、条玄蕃は是を聞いてそれなれば俺が會つて見やうと平内に面會して [玄]「承はれば親の許は勘當の身分とのこと枉て手前方へ養子となつて頂きたい」[平]「お言葉の如く勘當にはなつて居りますが私の一存を以て他家へ参るといふことにもなりません何うか其のことは父平左衛門へ御相談を願ひたい」と日向守も玄蕃も最もと思ひました故築地町の兵藤平左衛門方へ参つて此の話しをいたしますと平左衛門は大きに喜び [平]「倅平内は勘當をいたし所詮我が家を襲せる譯にはなりません、最早拙者の甥を以つて、跡家を襲せることになつて居りまするゆゑ、何うか、平内を養子として、お目かけられて下さる様」とのこと玄蕃信行も喜んで二人へ申し聞けた上内々にて老中阿部豊後守へ願ひまするに、豊後守正武も大層喜んで直ちに兵藤平内は条玄蕃の方へ養子に参りました、兵藤平内は切腹をして死んでしまつたといふことになつて居る、兵藤を改めて条平内となつて玄蕃の娘松代と夫婦になり、仲睦じきを見て舅の玄蕃も喜んで居りまする、平内の心底も一變いたして今までの行狀とは違ひ、何か一つ功を立てゝ徳川家へ恩報じをしたいと思つて居りました、火附盗賊等を吟味いたしますのが条玄蕃の役でありました、此の加役と云ふものを平内が案じ出して公儀へ願ひました、と云ふのは火附盗賊を吟味いたす者へ助力をするものでございます、平内は毎く市中に遊んで居て俠客や浪人と一緒に交際て居りました故、然ういふ者を集めて加役といたし、公儀の御用を聞いて居りました、スルと彼に士方より

つて参りました若衆歌舞伎といふ者がある、坂田定右衛門といふ一行を率て参り、堺町へ村山座といふ芝居小屋を建まして興行をいたしました處、大層な大入でありました、日々見物は詰かけます、去、最も此の當時女歌舞伎はならないと云ふので禁せられ役者は皆男ばかりであります、役者の中に橋本金作といふ女形がありまする、是が頗る美少年、女子供は此の金作を見やうといふので芝居見物をいたしまする、小船町の石川六兵衛の娘おつやも芝居見物に参つて、橋本金作を見て歸りましたが、是が原でおつやは病氣になり六兵衛が此のことを聞くと一人娘ではあるし、大家のことでありますゆゑそれほど娘が執心といふなら金作を買はして遣らう、金さへ出せば自由になるのは藝人、金作としみ／＼會つて話しでもしたら病氣は癒るであらうと翌日家内一同の者を伴れまして境町の村山座へ参りましたが、茶屋の二階へ引揚げて参り酒肴を命じて橋本金作を呼び迎へました、總てこんなことには女中共が案内をいたしますので、自分達も下廻りの役者でもあてがつて貰はふと思ふから骨を折つて取持つて居ります、役者なぞといふ者は結構なもので女の方から金を出して買に來るといふが偶には講釋師でも買に來さうなものだが、講釋師なぞを買に來る女は一人もございません橋本金作は喜んで茶屋の二階へ來て見るとおつやを始め大勢の女客が待受けて居りまして 女「オヤ太夫さん、能く

お出下されたさア何うぞ此方へ 遅さまがお待受けでございます」

二月十一日 九星 本命五黄八方開 先勝 舊正月朔日 己丑

[illegible]

女の一寸 腰と下腹 綿には 命の母 第一等
價 十錢、廿五錢、八十錢、一圓五十錢、三圓、五圓（全國有名藥舗にあり）
本舗 東京京橋新榮町 笹岡藥房

演藝案内

活動寫眞常設館 京城黄金町一丁目 電話 二六三七 二六六 黄金館
二月八日より新提供 ○新派悲劇「陽炎」全四巻 ○泰西社會劇「渦」全五巻 ○舊劇「二人太閤」全五巻 [illegible]

上場以來連夜滿員 大正館
舊劇 細川血達磨 三、四編 四巻
愈々佳境に進む問題の怪寫眞
◎鐵の爪 四巻上場
巨魁鐵の爪に拮抗する笑の面とは男？女？
新派 捨小舟 五巻

牛乳 新鮮 衛生 病家 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

京城本町 電話一〇五〇 壽館
新派劇曾我廼家第二團一行 一番目 笑劇 二番目 喜劇 意外の要求 三番目 喜劇 ポンコツ 本日配付番附に印刷し三等入場料とす [illegible]

六日以來滿員御禮 引續き 有樂館
新派悲劇 良人の仇 全五巻
日出の國 [illegible]
終編 雷諾の聲 完結
舊劇 愈々本日より上場 松竹梅雪の仇討

櫻井町 電話八七三 大正館 [illegible]

本町五丁目 稻荷座
浪花節身振芝居 市川團之助一座 [illegible]

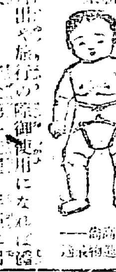
早川演藝部直營 活動寫眞常設館 有樂館
○日米親善「日出の國」九編十編 [illegible]

明治町二丁目 電話二六〇番 浪花館
○京阪落語若手一座 [illegible]

陸軍拂下
官衙品 被服並に諸一切 下拂
襦袢、袴下、靴下、半袋、被服
京城府漢江通三 電話長三六番 佐藤古着店

◎抵當流れ 本場結城縞 持價一圓九十錢
一流高貴織 持價二圓九十錢
本夜 茶毛布 持價三圓二十錢
昨年末衆服問屋並に毛織物問屋より抵當流れ品を今回整理の為右記價格大見切賣す斯の如き機會に買入置くは實用無類安全第一なりハガキに男女年齢記入申込あれ代金引換にて送る
東京赤坂田町七ノ二 東洋商會

大評判の 女のおしめカバー 保溫衛生 [illegible]



東京市本郷區春木町三丁目廿四番地 田中商店

至急募集 修業短期 自動車學校
本校卒業生は自動車の激増と共に運轉手技師販賣員等に招聘多く [illegible]

婦人病の原因 恐ろしい冷え症から
こしけ、月經痛、子宮病、血の道、不妊症等凡て女の病は冷え症から起ます、手足腰が氷の様に冷われ夜も眠れず、下腹痛み、月經不順頭痛、眩暈、悪臭のこしけが下り、頭髪脱け、子宮から心臓を害し命を取れるのも原因は皆冷え症からです、斯ふ云ふ方は東京で一番良い責任保證附の私方の藥をお試めし下さい御申込次第親切に手當を書いた説明書を無料で送ります
信用相談 [illegible]
東京芝區南佐久間町二ノ一八（電話芝五九〇四番）平田とき子

▲好評嘖々たる
桃谷研究試驗所創製
美顔洗粉

女學校へお出での方はどなたも御存じ……

▲牛乳や鶏卵は何故美容上有効なのでせうか？ それは牛乳や鶏卵には純良な蛋白質と中性脂肪とを含んでゐる為めであります。この事は女學校へお出での令孃方は、どなたも御存知の事でございます。美顔洗粉は種々の原料を一々嚴密に檢べて品質の良い原料を用ひてある上、殊にこの純良な蛋白質と中性脂肪とを丁度適度に含むやうに數種の特殊原料を加減して用ひてありますから、美容上牛乳や鶏卵を使ふのと變らない効果がある理由になりますのです。

御内意により謹製したる洗粉

大正四年五月上旬、或る貴賓の御係から、佛蘭西製の或る洗粉とクリームとの見本を添へられ、これに劣らぬ優秀なる品質の二品を桃谷研究試驗所に於て調製を進せよとの有難き御内意が傳へられました。當試驗所にては此上なき光榮に感激し、技師一同飽くまでも深重に綿密に研究を積み、同七月下旬を以て御製品を上納致しました處、二品とも品質の極めて優秀なる事を認めさせられ、爾來常に御用を拜して居りました其二品の中の洗粉を先頃來廣く世に發賣する事にしましたのが此美顔洗粉であります。斯ういふ品ですから一度美顔洗粉を御用ひになりました方は、必ず其品質効用に御滿足遊ばされ、引續き愛用せらるる有様であります。貴賤上流方御家庭からの直接御注文も近來非常に多くなりました。

製造 美顔白粉、美顔水、美顔ユーマー、白色美顔水、美顔洗粉、美顔石鹸、美顔クリーム
發賣元 桃谷順天館
東京市日本橋區本町四丁目（電話本局一六二六・一六二七・二二三〇番）
東京市麹町區有樂町一丁目（電話新橋二六三九番）實驗部
大阪市西區靱南通二丁目（電話土佐堀六四七・六四八番）

汽車時刻
京釜線（南行） 同（北行） 湖南線（南行） 同（北行） 京釜連絡 京義線（北行） 同（南行） 京仁線（仁川行） 京元線（北行） 同（南行） [illegible]

第五版

顯著なる兵器の進步
歐洲大戰と其影響

現時の歐洲戰爭は兵器材料の進步向上を促せること夥しい、併し主要兵器たる小銃及び火砲は依然として戰前の物を用ひ機關銃も別に大なる變化は無く之等は何れも我が陸軍で使用してゐるものと殆んど優劣はない

△火砲と其種類　西部戰場よりの通信によれば同方面では啻に砲兵戰が行はれ、隨つて兩軍とも兵器の衰損物や破壞物が多大である樣だが、之が補充の爲め別に新兵器を用ひて居る樣でもない、但し火砲は編合上若干其種類を變へてゐるやうで例へば佛軍の如きは戰爭勃發當時には主砲として平射砲（加農）を稱揚してゐたが最近は曲射砲（榴彈砲）增加の傾向がある、之は主として戰場の狀況が然らしむる結果であるが、特に塹壕戰の如き場合には一層其必要を强く感ぜしむる、又威力ある大口徑の火砲の增加し來つたのも自然の勢ひである、此大きな火砲の野戰に始て用ひられたのは蓋し日露戰役の當時我軍砲兵が廿八珊榴彈砲を使用したのを以て嚆矢とする、獨逸の四十二珊、佛軍の五十珊榴彈砲の如き何れも前述の要求に應じて現出せるもので敢て驚くに足らぬ、我陸軍でも最近既に三十珊榴彈砲を試驗し頗る好成績を擧げてゐる▲次に特種の兵器としては迫擊砲であるが之も近世に於ては日露戰役の時我軍が用ひたのが濫觴を爲してゐる、今日盛に歐洲戰に使用されてゐる此砲は距離は餘り遠く達しないが種々な障碍物を破壞するには最も威力がある故塹壕戰には是非必要で現に我軍でも講究されつゝある

△毒瓦斯の利用　毒瓦斯を使用して對敵の戰鬪力を奪ふ事は之れは人道に背くといふので國際法でも明かに禁ぜられてゐるのである、然るに歐洲戰爭の始まつた翌年卽ち一九一五の春イープル附近の戰に獨軍が始て此毒瓦斯を發射したので全世界の中立國から盛んに攻擊を受けたが毫も顧みる所がないので聯合軍側でも亦復讐的に利用する樣になつた、之を發射するには普通の火砲の彈丸の內部に或る元素例へば鹽素とか硫黃とか臭素とか其他種々の藥を入れて敵陣地に投込むのである、其他に擲彈の種類があつて是も射擊の方法として遠距離から行るのと近く敵に相對して或る發射器を使用して一時に多量の毒瓦斯を發散せしむる方法とが目下併用されてゐる、而して之を用ふるには常に風向を顧慮する事が大切で、若し間違ふと己れ自ら損害を蒙る樣な場合がある又之が防禦手段として瓦斯面若くは口覆ひに其毒瓦斯を緩和すべき藥品を裝置する等諸種の研究が積まれつゝある、尙ほ此毒瓦斯の原料となるべき物は其國の工業原料と相關聯するものであつて、國々によつて多量に得られるものを使用すれば足り、敢て之れを戰爭用に供する爲には大なる困難はあるまい、目下我軍に於ても研究中で、兎に角毒瓦斯の使用は文明的戰爭として今回の大戰に現出したのが始めてゞある

△自動車の活動　今回の歐洲戰には各種の新兵器と共に盛んに自動車を利用せられつゝある、兵器彈藥糧秣の運搬用として或は兵員を甲地より乙地へ迅速に移動せしむる爲め、又機關砲等を裝備した裝甲自動車など凡ゆる方面に自由に活躍してゐる、之は歐洲戰場の如き交通路の有利なる狀態と相待て始めて能く利用されるのである

△航空機の發達　航空機に就ては今更ら喋々を要しない、大戰前迄は世界各國中最も長足の進步をしてゐる佛國ですら尙ほ偵察の價値を認めず、器械等に於ても未だ制式を決定するに至らなかつたが國民の熱心な努力が相待つて非常な進步を示し、大戰勃發前より既に戰鬪兵種の一として重大なる役務をなすべく期待されてゐた、而して戰爭が始まつて以來其戰術上の用法に於ても技術的に於ても非常の多大の進境を示し一方には大なる犧牲を拂ひつゝも熱心に操縱者及び器械の補充に力め以て一層一層の進步を來してゐる、今や航空機の獲得は戰鬪の勝敗に關し最も重要視さるゝに至つた畢竟戰前僅に萌芽を出した航空機は則ち現下の戰爭の實際に大なる教訓を受け略ぼ完全に近づきつゝあるのである。目下航空機の種類は爆彈投下及び觀測用の大型（航續時間の長き）及び偵察用等に用ふる中型、攻擊用の小型（快速力を有する戰鬪用）の三種で各々其の目的に向つて活動してゐる

△航空機射擊砲　航空機の出現に伴つて又新しく航空機射擊砲なるものが現はれた、之は重要なる戰略偵察に於て敵の航空機の活動を妨害する爲めに生れたもので大なる角度をかけて最も迅速に射擊し其射擊術等は野戰の火砲の射擊術と何等異る所がない、其他陣地撮影の爲め寫眞術、音響による距離の測定及び無線電信、電話等の研究は何れも今回大戰の影響を受けて漸次發達しつゝある（陸軍省兵器局長談）

戰後の海運
競爭に對する各國の準備（五）

三、日本

日本の競爭に付て第一に述ぶ可きは全建造額一萬三千噸に過ぎざりしに今日に在ては建造中のもの六十萬噸を數ふるの盛況を來たせり日本に於ては現今造船材料の自給を計り鋼鐵產業の開發に熱中せりされども其の熟練職工の缺乏甚だしきは造船上に於ける大缺點と云ふ可し尙ほ日本は船舶の建造と共に其の購入に依て大に噸數の增加を見つゝあるも此等の購入に對しては法外なる戰時價格を支拂ひつゝあるの一事は看過す可からず卽ち此等の海運業者は戰後に至り普通の運賃に甘せざるを得ざるに際し目下投入せる異常なる費用に付き大なる困却に會するの恐れなきか次に論ず可きは海運

公園清水堂、以盡一夕之歡矣、其日、微寒天陰、至午、放晴和暖、知天宜悠吟客也、屆期、如水魯石觀其無恙、接踵而至、席定行觴、以拂陰寒、新情舊話、盎然於座席、揮毫援筆、擬柏梁體聯句、乘興之詣、孫天南溪、別席展牋、揮毫揮灑、之妙技、雲烟起筆端、以娛主客之意、忽而、對臨席展談之際、日、俳壇老將青木靜軒君送別之燕也、天南作竹、衆塗鴉於楮面、以亦同壯其行、靜軒君來謝曰、拜其呪之、酒亦益酣、遂不覺霑顏也、蓋亦樂之一快事、正十一點鐘、猶如昔之數也、其聯句曰、

○鷗○孤○鶴○自○適○州○　魯石
○瑞○喜○一○背○茶○洞○頭○　白鷗
○鶴○飛○來○幾○去○留○　如水
○春○雅○會○涉○風○流○　半莊

募集要旨

我社今回の防寒建築案募集は、住宅を主として評議表したるもの。特に中流階級の住宅を標準としたるは、相當の資力あり提案採用の實行者、比較的多數なる可きを豫期せるが爲めである。玆に應募者諸君の參考に資するが爲め、左に我社今次の募集要旨を摘載す。

◇建坪　四十坪乃至五十坪迄　但し二階建設計の場合も延

◇家族　夫婦老人一、子供三女計七人位の家族　但此家族に依り甚しく拘泥せざる事

◇提案　平面圖、正面圖、設計說明書

◇工費　坪當り百圓內外とす

◇特案　特に防寒設備を施したる構造部分の詳細圖及び說明書

◇寒度　京城＝平壤兩地方に適當する程度の防寒構造

應募規定

（1）一人一案に限る（2）應募者は寒地に適應する中流家庭の住宅を定則とする（3）應募者は必ず平面圖、正面圖及び設計書を附せらるべし（4）應募者は其氏名を明記せられたし、但し入選の場合紙上に發表の際に希望に依り匿名とす（5）締切期日は來る三月十五日とし（6）發表期日は來る四月一日とし京城日報紙上に發表す（7）應募案の印刷版權は本社に保留す（8）應募は防寒建築案として本社宛に送付あれ

懸賞

一等（一名）金百圓

二等（一名）金五十圓

三等（二名）金十圓宛

▲補助金に對する反對運動　にして其の氣勢漸やく盛んならんとするのあり、其の近く廢止案議會に現はれんとし且つ補助船所有者にして大戰に所有船の賣却を開始するものあり、反之有力なる政治家にして海運の發展に對しては其の最大の努力を辭せずと斷言せるものあり、其の何れに決するやは言明の限りにあらざるも茲に各種の事情を綜合して日本海運の前途を見るに第一に此の特別航路を除外しては日本の業及び造船業は英國の地位を奪ふが如き發展を遂ぐる能はざるは斷言して憚らざる所なり（朝鮮殖産銀行調査課）

柏梁體聯句　並小引

戊午二月、松田學鷗自黄州來、同六日、忠清吟社同人、招飲於居洞

は日本海運に其の勞銀の低廉なるに拘らず國家の補助金は負ふ所大なるの一事なり一八九六年の補助金は發布以前に在ては千噸以上の汽船僅に十四隻、而して其の建造に係るものは僅か一隻を數ふるに過ぎざりしが今や其數太平洋に於て最良の商船を有する所の最新式造船所を有するに至れり而して二十年以前に於

どうして
布施生譯
六十六

瑠璃子は、『只今參ります』と親父に返事をしながら更に國栖の顏を覗込んで『貴下何を拵へてゐるの』と問はれて國栖は好い機會さ瑠璃子の口から親父に聞かせたいと思つた事柄を程よく潤飾して聞かせた、瑠璃子は聞く中に眼に一杯涙を溜めてゐたが其處へ再び親父の怒鳴る聲が聞えたので瑠璃子は急いで歸りかけながら目顏にて『貴下何卒今申しました通りを申上げて下さいまし、お氣に障へないで下さいまし。』と小さな聲で申しますけれど、ひきもして何うしてまさうに愛想笑をしてみせた、國栖は默つて點頭いたが、已れ國栖の瑠璃子の此處に居るのが癪になつた、併し今は如何したものであらう、國栖はそれを定めるまでに二三日費した、何しろどうにか上手に瑠璃子をまして其前に先づ出來る限り對手の人物と樣子を知つてゐなく必要がある、假にも飯を食つてゐる以上は一二人を今更取逃す樣な事があつてはそれこそ顏向けも出來ないし、瑠璃子だけは巧く逃して非道な父や兄が絶望の苦手から免れさせて、くのみならず世間の口の端に懸る事をも免れしめたい。そうなるとどうしても謀計と云ふ事にならざるを得ない、國栖は逃る心を抑へて三日と云ふもの專ら親子二人の研究に耽つた。よく見ると成程宿の主婦が言つた通り瑠璃子は決して一人で外出する事は許されない。乾度親子の中何方か一人が見張つてゐる。其癖、金に自由を奪はれてゐるかと思へば强ちそうでも無いらしく短時間と云へ瑠璃子の散歩は勝手である、其の赤い丸印はどうやら親子の在宅と關係があるらしく或晩何の用事か三人とも外出した事があつた時は其印は消えてゐて、晩く親父と娘とが歸つてくると同時に再び赤く付いた事があつたが、それから買物に出るのは親父で息子は無いが用事に出るのは息子で親父では無い、親父は多く宵の口に出て息子は專ら中夜に出る、尤も息子の方は時々正午過ぎ一寸外出する事もあるが之は多分銘酒が戀しくて堪らなくなつた時であらう。親子は二人とも體格の恐ろしく大きな力の無暗に强い奴で其擧動は素早くない、國栖は一度親子二人が喧嘩になつた所を見て其嚴なのに驚いた、力では到底敵では無いが無藝作な敏捷でない所から見ると頭腦も餘りよくは無いのであらう、之丈は國栖も見拔いたのであつた。之を土臺にして何か計略を案じなければならぬ、國栖は二三日の間考へに考へて待つて遂に打合せて彼の小兒の玩具のベンキを買ひ込んで用心に押込んで眠の睡眠を思ひ切つて强く通路の錠の樣にしてやつた。隣室の親爺は猶ほ機嫌が惡いと見えて何か大聲で怒鳴り出す、それを合圖の樣に瑠璃子は國栖の部屋の前に立つた、そして同前の籠つた聲で、『今日は父が少し機嫌を損ねて居ますので、とてもお出懸けなさいますすかしら』と顏を赤らめながら云ふのに『瑠璃子は國栖が早く閉つてしまふやうに、何處か都合よくだつて、やい手前達や何をして居るんだい』と親爺の聲がして瑠璃子は心配らしく急いで國栖に向ひ『さあお早く被往いまし、お騷ぎになりましたら何卒なるたけお咳嗽をなさいませんやうにね、瑠璃子はそこ〳〵謝してやゐるんだい』『何だ、騷ぎましたら』と國栖が言ふまことにお氣の毒樣でございます『白、騷りましたら』と國栖が言ふかけたが其間もなく親爺は答へかけたが其間もなく親爺は入口に現はし額に深い八の字を刻みながら太い眉を斜に構へて國栖と瑠璃子とを睨み下した、瑠璃子は國栖に向つて一の事は無いかと心配する、國栖は反對に瑠璃子の身の上を氣遣つたが親爺はしかし直樣打ちも懸らず憎々しい態度をして聲を張上げ『やい何をこそ〳〵相談してゐやがるんだい、何だ其籠の中は』と言ひながら鍋床踏鳴らして一足歩み寄つた。

牛の著　岡本米藏君新著

簞筍

正價金壹圓　郵稅八錢

牛は現代青年の最も信頼すべき味方也。著者は現代思想の變遷を深く洞察して…現代の國民思想に新生命を與へたる…著者の權威を知るべし。

天下の名著愈出づ

牛　四六判…七十七版　正價壹圓

京城本町　博文館發行

賣捌所　京城大平通一丁目　京城日報社代理部

取次所　京城本町二丁目　大阪屋號　嚴松堂

生徒募集

本校生徒左記ノ通リ募集ス詳細ハ本校ニ就キ承合セラレタシ

一入學者資格　土木科第一學年　拾八名　建築科第一學年　拾貳名　電氣科第一學年　貳拾名　機械科第一學年　廿五名　採鑛科第一學年　廿五名

一出願期日　大正七年四月五日限リ

一出願手續

一入學試驗　大正七年四月七日、八日、九日

一受驗心得

大正七年二月　南滿洲工業學校

商業登記公告

告在鄉軍人

洛陽…生徒募集

書籍販賣募集

帝國史書研究會

朝鮮及滿洲社編纂　最新朝鮮地誌　上編　一冊　定價一圓五十錢　送料　朝鮮十二錢　內地滿洲三十錢

本書は本社發行の雜誌朝鮮及滿洲叢書の第一冊として發行せるものなり、上編下編併せて七百頁…

發行所　朝鮮及滿洲社

朝鮮學術研究會編　朝鮮中學校　商業學校　高等女學校　高等普通學校　入學試驗問題答案集

四六版　二百餘頁　定價金五拾錢　送料四錢

發行所　ウツボヤ書籍店

學生諸君……御待兼の入學試驗問題……賣切れぬ內に……買ふて入學の榮を得られる事を

安藤寧四郎著　朝鮮鑛業…

發賣元　京城日報社代理部　賣捌所　大阪屋號　嚴松堂

二月十日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

危篤の報あるルーズヴエルト氏

第四十回帝國議會（東京電話）

貴族院（九日）

九日午前十時開會諸般の報告ありたる後議長は七日薨去せる宗像政氏に弔詞を贈る事を諮り異議無く可決日程に入る

第一請願委員長報告

委員長細川護立侯登壇開院式以來本員の受付せる請願は八十二件にして内院議に附す可しと議決せるもの一件、院議に附するを要せずと決したるもの八件[illegible]七十三件なりと報告し

第二徴兵令中改正案

に移り委員長林廣太郎伯登壇委員會の經過を報告し(一)一年志願兵並に一年現役兵の入營期を十二月とするは當を得ず之れを春期に改むる事(二)一年志願兵の教育を現役中に完了せしむる事(三)下級海員に對し水兵教育を施し海兵の兵籍に編入する事の希望條件を附し原案を可決せる旨を述べ降壇するや

加藤海相登壇下級海員は平時に於て兵籍に置くの必要なし殊に下級海員は平時と雖も悉く海兵の教育を施すは困難なる事情ありと反對の意志を表し古賀廉造氏は六週間現役兵を改めて一年現役兵とするは可なりとするも之を直に國民兵に編入するが如きは軍事教育に効果ある筈無きに非ずやと質し

大島陸相、一年現役兵は二十八歳迄兵籍を有し猶且志願に依り一年志願兵と同樣豫後備將校たり得可きものにて單に一年現役のみを以て全然兵籍を離るゝものに非ずと述べ次に伊東義五郎男は下級船員の漸次減少するに對し之が補給の上に於ても下級船員を兵籍に編入するは其の志願者を增加せしむる意味に於て適當なるにあらずやと問ひ加藤海相は下級船員全部を兵籍に編入する必要なしと信ずと答へ江木千之氏は一年現役兵服役中の俸給支給に付き大臣の意見如何、大島陸相、服役中の俸給は入營迄支給す[illegible]

加藤海相と[illegible]

海相は[illegible]

[illegible]

衆議院（九日）

▲事業公債案

朝鮮事業公債法中改正法律案外一件の委員會は九日午前十一時開會政府委員側より朝鮮鐵道は國費のみを以て完成を期し難きを以て將來は私設鐵道をも許可せられたしとの希望あり原案を可決し

更に樺太事業公債法案は異議なく可決し同四十五分散會せり

▲第一分科會

衆議院豫算第一分科會（外務、司法、文部）九日午前十時五十分開會先づ外務省所管に就て齋藤隆夫氏（憲政）は修正意見あるも總會に於て之れを述ぶべしとて贊否を保留し林毅陸氏（政友）の哈爾賓總領[illegible]

▲第二分科會

[illegible]

▲第三分科會

[illegible]

▲第四分科會（陸軍省所管）

九日午前十時四十分開會直ちに議に入り陸軍省豫算全部を議題に供し野田卯太郎氏（政友）[illegible]

▲第五分科會

[illegible]

▲第六分科會（遞信省、鐵道院）

九日午前十時十五分開會[illegible]

遞信省豫算全部[illegible]

◎蒙古要地

◎滿鐵[illegible]

◎關東[illegible]經理部長視察

[illegible]

◎ルーズヴエルト氏危篤

▽腫物を切開した爲め

前米國大統領ルーズヴエルト氏は耳の腫物を切開せる結果經過宜しからず重態なり（華府電報）

◎ニコラス大公暗殺か

ニコラス大公は二月三日タシユケントにて奇怪なる事情の下に死去せられたりと（倫敦電報）

◎米上陸禁止の理由消滅

米國官立醫學研究所は日本人の米國上陸禁止の一理由となり居れる十二指腸の傳染病に非ざる事を近く發表す可しと（桑港電報）

◎目賀田男歸朝

目賀田男一行は今九日午後四時横濱入港歸朝す（東京電報）

◎鮮銀總裁後任

日本興業銀行總裁志立鐵次郎氏は九日を以て任期滿了に付き其後任として日本銀行理事土方久徵氏就任に決定せり（東京電報）

◎鮮銀總裁入洛

美濃部鮮銀總裁東上の途九日入洛したり（大阪特電）

◎國會選擧兩法案

國會組織法案及び選擧法案

[illegible]

◎南洋拓殖會社設立無効

[illegible]にて審理中なりしが同社資[illegible]込は四萬株の内四千二百三十餘株に過ぎず形式上の手續は了したる[illegible]

◎荒木二等軍醫正

陸軍軍醫學校教授荒木二等軍醫正は滿洲各[illegible]

◎勸業技術員會議

京畿道廳にては管内勸業技術員を召集し來る十二日より六日間左記日[illegible]

▲生産地に[illegible]

[illegible]

◎鐵道收入概況

滿鐵京城管理局一月中の營業收入概況を聞くに[illegible]較する時は三千[illegible]激增にして一日一哩平均に割當つれば三十圓五十六錢となり前年度に比し[illegible]

成金の秘訣と生活難の救濟 副業新聞社

京日案內

乳母入用

內地人乳母入用

自轉車 自轉車ロクロ[illegible]

オキシヘーラ[illegible]

年金恩給

○ほねつぎ 柔術

恩給年金立替 國江商會

礦物定量分析

成金法 坂元[illegible]

社員及給仕募集 蓬萊朝鮮[illegible]

外事社員 大同生命

獎勵資金壹萬千圓進呈

新發賣

京城日報社代理部

種苗代價表 日本種苗株式會社

人蔘[illegible] 京谷商店

富安本店 富安京城支店

瓦斯コークス 一手販賣所 越野商店

眼鏡專門 宮川大學堂

眼科專門 入院隨意 京城明治町東拓横(電話二〇四四番) 江頭眼科醫院 日曜祭日午後二時迄 江頭富雄

北軍司令部設置

部を湖北省孝［illegible］に置き襄陽岳州方面の北軍を指揮すべし（北京特電）

住宅問題

▼經濟で衞生的なペーチカ

八疊二間兼用で百十五圓　溫突は比較的高く不衞生

某陸軍將校夫人談

龍山の陸軍官舍には採暖上の設備としては溫突と露國式ペーチカとがあるが此れが比較に就いて第十九師團附某將校夫人の談を聞く

私共では昨年まで溫突附の官舍に住つて居りましたが新官舍が出來てから直ぐ此の方に引越して參りました。新官舍は東寄から入つて左が

▼洋式の應接間で突當が八疊の客間と六疊の次間、次が茶の間と書齋になつて居りますが、ペーチカは客間と次間との間に設けられてありますので二室とも非常に暖かうございます、御承知の通り溫突は煙道の通りさへ宜ければ大層暖かなものでお尻の下から心地よい暖味が上つてまゐりますしお部屋の中もすぐに溫まりますが慣れない内は逆上て鼻血を出すやうな事は珍らしくありません、又朝鮮人は木枕を致すさうですが普通の內地枕では熱を傳へて腦に惡く夜中など溫突の火が消ゑでも致しますればすぐに風邪を引きますし度の中でも時々火を入れねばなりませんから

▼溫突は衞生上非常に惡い

やうに思はれますがペーチカでございますと一旦燃つた煙が煙道を傳つて上下するうちに放熱盤を溫める裝置になつて居りますから急激に溫まらないかはりに溫突のやうに瞬く間に冷ゑて布團の下から水を注がれるやうな寒さを感ずる事はありません、殊にペーチカは溫突のやうに下から熱が上らないため疊は暖くなりませんが室內の空氣は平均して溫くなりますから衞生上大へん宜しく、私共もこちらに移轉て參りましてからと言ふもの頭痛を惱だ事もありませんし夜寢冷した事もありません、それでゐて

▼新物はさ申し

ますとペーチカの方が經濟で夜一度炊いて置きさへすれば激しい寒さでない以上一日中暖かくなつて居ります、それに溫突のやうに一間きりでなく兩部屋通じて溫まるのでありますから割合から言へば五割方の經濟と言つても宜しうございませう、只［illegible］ペーチカをも備付ける際注意しなければなりませぬのは內地式の部屋は宛然隙間の多い［illegible］事はペーチカの［illegible］でございます、此の點さへ改良すればペーチカの方が［illegible］

▼設備費なども溫突は坪三圓

ペーチカは從三尺で百五十圓內外要るさうですから結局溫突は八疊で百二十圓［illegible］ペーチカは八疊二間［illegible］

［illegible］溫突に比べれば二倍の費用をしながら三十圓內外費用が高い丈けでございます、それに溫突のやうに夏だと言つて特別の手數がかゝるではなし決して損は致しません、本當にペーチカは採暖設備としてはお得用向きでございます

中學校武道大會（左）長谷川總督

◉勇しい各選手の對抗試合　京中武道大會

△訂正［illegible］

京城中學校にては九日午前九時より同校道場に於いて［illegible］武道大會を擧行したるが［illegible］及び同校職員各方面［illegible］鐵道［illegible］武德會［illegible］擬武館等より來會せる各選手の對抗試合等あり

△柔道部は一年生より五年生まで養成所生徒までを六組とし最後に同校生對養成所生各外來選手との試合あり亦撃劍は龍虎兩隊に［illegible］

△一層活氣を加へ柔道の形及び岡田二段に渡本三段［illegible］市川［illegible］各段［illegible］の來揚さるゝありて［illegible］したるが午後二時過ぎ長谷川總督［illegible］の［illegible］谷、陣の內、篠崎、撃劍［illegible］波多谷、岡田、渡邊、永島各三段岡村四段（［illegible］）審判にて盛んなる仕合を爲したるは午後四時なりき

◉製鐵所事件　大阪に飛ぶ

［illegible］地方裁判所檢事一名［illegible］殿に來り若松製鐵所事件に就き［illegible］其他の［illegible］を內密に取調べ居れり（大阪特電）

◉賊巡査を擊つ

大阪府下住吉署川上巡査は强盜犯人園田彥吉を逮捕せんとしてピストルにて擊たれ負傷したるが犯人は其儘逃走せり（大阪特電）

◉刑事を裝ふ曲者　婦女を辱しむ

慶北安東郡安東面東部洞居住の無職村野賴王（三七）と云ふは前科を有する者なるが去月廿二日午前十時に安東郡西后面名品洞長權相浩を同洞內にある酒幕金仲鎭方に呼び寄せ自分は安東警察署刑事巡査朴洞浩なりと名を詐稱し同洞內なる權力與、金哲鎭の兩人を右洞長を使として呼び寄せ元自分の關係ある丹女と云ふ者を誘拐したる嫌疑として本署に連行すべしと脅し右兩名より若干の酒食を饗應せられたる手始めに二十二日午後七時頃同洞金仲鎭方に於て同洞內なる酒客先が酒氣を帶びたるを直に亂暴者と云ひて客先を逮捕し翌朝に至る迄室內に監禁し其上客先を亂打したり又翌二十三日午後二時頃同面城那洞に至り三の鮮人を呼寄せ前同様手段にて酒食の饗應をなさしめ尚安東郡一直面望湖洞酒幕平方に於て本村梅次郞に依賴されたりと詐り同人宛の小包を騙取し其他數箇所に於て宿料又は酒食料を支拂はず婦女子を辱しめたること等發覺し安東警察刑事巡査の手に逮捕され目下取調を受けつゝあり

◉火藥を椽下に隱匿す

原籍三重縣南牟婁郡尾呂志村字阪本現住所慶北金泉郡鳳山面大和洞隧道工夫中峰勝吉（三八）は金泉秋風嶺間鐵道改良工事請負業者中野欽九郞の下請負業田龜吉附隧道工夫［illegible］の［illegible］に使用せんと［illegible］一月十八日より使用の［illegible］によりて［illegible］時より［illegible］を受けたる火藥を［illegible］窃取し置きたる爆藥一［illegible］を同月二十五日に［illegible］奴雷管六十七個を窃取し置きたる［illegible］金泉郡金段面多［illegible］洞に梶野［illegible］衞なるものに賣却方を依賴したる［illegible］に梶野は直に［illegible］他に賣却せんと［illegible］家の椽下に埋匿し［illegible］分隊に探知檢擧され［illegible］右兩名目下嚴重取調中

◉氣溫騰る

七日より十度以上高し

七日北漢に現はれた高氣壓は徐々に東に進みて八日に至るや其の中心は朝鮮に向つて進み來つたため

◇朝鮮一帶は晴天で氣溫は之に反して［illegible］あつたが滿洲方面は之に反して氣候一變し氣溫遙かに昇騰して八日朝の如きは七日に比し十度以上の高溫を示した朝鮮に來つた高氣壓は依然として薄弱の狀態のまゝ南西に向つて流れ去つたが九日朝の氣壓の配置は咸鏡道方面に七百六十四粍の低氣壓、西朝鮮沿海に七百六十八ミリの副低氣壓現はれた結果

◇朝鮮は此の兩低氣壓に挾まれて曇天となり中部以北には一時的の降雪さへあつた同日朝京城の溫度は零下二度を示し例年に比すれば十度程氣溫が高いが此の天候模樣は大陸方面に七百七十二ミリの高氣壓が發達しつゝ有る關係上意外に早く恢復し低氣壓は九日中には日本海方面に移動する由（京城測候所員談）

◉京城神社紀元節祭

京城神社に於ては紀元節當日恒例［illegible］

◉印半纏會の催し

［illegible］二月十日（日曜）午後［illegible］馬［illegible］小［illegible］の［illegible］數名の士官以下二［illegible］の馬車に分乘し市內數箇所にて大野戰をなし夜八時よりは永樂町京城小學校內にて特別救護［illegible］を開くべく十一日紀元節にも雲の野戰あり夜は同校內にて兵士達が其な［illegible］職業を表はす服裝にて各々其立場より信仰の實驗談をなす印半纏會を催しある由

◉老女の負傷

七日午後四時玉仁洞一四〇番地金聖鉉方の溫突より出火したるも京城常備消防隊出動して大事に至らず直ちに鎭火せり消防隊出動の途中光化門通りにて樓下洞二五五文敬植の母高姓女（六七）なる者輛筒車の轍に觸れ人事不省に陷りたる椿事あり應急手當をなし即刻總督府醫院に入院させしが生命危篤なりと

◉間島の猩紅熱

間島龍井にては猩紅熱患者を出し邦人兒童一名途に同病に斃れ擬似患者續發する傾向あり當局者は同患者隔離措置方法に就て意を惱まし居り（間島）

◉京俱撞球競技會

京城俱樂部にては來る二月十七日午前九時より同部に於て撞球競技會を開催し優［illegible］者には一等より十等迄に［illegible］

學校めぐり

▽佛敎中央學林

俗世の色に［illegible］ゆうにさ［illegible］寄宿舍に入てある人里離れた東小門內崇［illegible］の中腹に松の緣りに包まれて靜かに［illegible］して蹊かに立つてある［illegible］の門構へ［illegible］佛敎の［illegible］道ケの［illegible］新［illegible］立てた私立佛敎中央學林［illegible］門を入れば石段［illegible］寄宿舍が連り［illegible］右には僧侶［illegible］講堂といふ大きい板［illegible］ある。そして中央［illegible］に事務［illegible］が據へてあつて［illegible］に使ふためか少さな鐘が一つ掛つてゐる。是れ林［illegible］は北漢［illegible］つて支那の關羽の肖像を祀つて［illegible］

た處［illegible］を［illegible］崇［illegible］の［illegible］併合と合併させた後三十本山が其の［illegible］を受けて校舍を建てたもので［illegible］ある。學生は佛敎地方學林の卒業生の中優れた者を擇んで月に十圓づゝの給費を［illegible］

◇日本在來のもので大きい［illegible］

◇實生のもの［illegible］

◇抱へ咲きで［illegible］

◉梅の匂ひ　花のさまぐ

◇「寒紅梅」は紅色のかはゆい［illegible］

◇大きい自然を移して見ます［illegible］

◇花粉の媒介をさせやうとの［illegible］

米鐵禁輸緩和

交涉も容易に成立の見込みある筈なく畢竟此る當面の問題は表面より彼れ此れ折衝を試むるよりも側面よりせば案外成功の見込ある理を察せざるべし

米國の鋼鐵禁輸の緩和されつゝある形勢に漸次寬大となり船材の［illegible］を必ずしも悲觀すべき［illegible］

［illegible］十一萬斤貨物十六萬七千噸にして其內入客車貨車の運轉合計一百三十四四千噸なり之を前年度同期に比［illegible］

支那視察團

神戶より東上

豆粕徵發

［illegible］發電＝米政府は日本及滿洲產の大豆二千封度を徵發せり（大阪特電）

◉暴風警報

（九日午後三時三十分發）

▲警文風强かるべし▲位置日本海西部▲示度七百六十粍▲方向東一帶▲戒區域全部沿岸

◉安全確實に儲かる　三百圓で千圓內外の利益

▽慾ひ深い人は儲からぬ△

◇南箕山［illegible］

◇抽籤債［illegible］

◇上手に［illegible］

◇本社を［illegible］

◇ハガキで東京市神田［illegible］

◇一株で［illegible］

◇十日間［illegible］

◇三百圓の資金で儲か［illegible］

最新刊

［illegible］高岡長知　京城旭町一　大師堂前

書名	著者	定價
日本工場要鑑	［illegible］	四、五〇
大正名鑑	［illegible］	二、五〇
朝鮮經濟年鑑	［illegible］	一、八〇
受驗提要	［illegible］	四〇
［illegible］	［illegible］	五〇
戰時動作遊戲	［illegible］	一、〇〇
支那の眞相	［illegible］	一、七〇
世界の衣食住	［illegible］	二、四〇
朝鮮の實業	［illegible］	八〇
露國革命	［illegible］	一、〇〇
經濟學	［illegible］	七〇
時局の作り方	［illegible］	七〇
天才の手紙	小泉鐵	一、八〇
夕	［illegible］	八五
源氏物語講話	石井勇	九〇

大阪屋號

百圓　りん病　はい病　帝國醫科大學院　分析料百圓進呈

にせ物と好商　大阪有田　南大門外　大阪有田商會　大阪屋號商店

京城南大門外停車場通　大阪ニッポン

胃つぎ治療　荒川

內田靴鞄問屋　京城南大門通

萬病感應丸　正野法橋支三

純金指環御安價升　友助時計舖

櫻御殿

第百四十七回　大阪殿の家主人

殘月（四）

桐島は、紀見峠の頂上に設けられたといふ新關は、父の刑右衛門を捕へる爲めに張られた網とより思へなかつた、まさか秀頼公へ對して謀反を揮ふやうなことはあるまいと信じながら、その疑惑から考へ、その平生から推量して、それを絶無であらうと云ふことも否きなかつた

『もし、そんな事があつたら何うしやう』

彼女の心配にまた一つ纏はつた初瀬の病氣は、朝の間泣落を見せて居たが、午前を過ぎてからまた取り詰めて、今にも息が絶りさうに苦しむ、桐島は見るに見離れて、また祈願を籠めやうと思ひ立つた

曉方から朝へかけて、多少快いやうに見えたのは、我身の願望を納受なされた神様の驗に相違ない、前に驗があつたのであるから、今度も驗は必ずあらう、一には父の無事も願ひたい、どうせ無い命と覺悟して居る、むざ／＼を捨てるよりは、一人の父や、心に良人と頼む人のお命に代つたら、此の上もない本望である、といよ／＼決心の臍を堅めて、秋の暑影が西の端山へ春きかけた時、初瀬の枕頭へすり寄つた、面の色がいよ／＼快くない、呼吸も苦しさうに見える、宗藏は柔く鈎を撫でゝ居る

『何うも可けないのでございますか』

『またお熱が出たやうでございます、こんな風ではや何時出發することが出來るかも知れないと彼御一で、先刻から大さう氣をお揉み遊ばすが、何にあなた、天道様がお守りでございますもの、今の間に御全快遊ばすのは知れ切つて居ます』

『左様でございますとも、私どもの一心だけでも、快くしてお返ししないでは置きません、もし、あなた』と云ひながら沈と見る、もし乱頭に濟いたまい、神慮に出つて命を召される事があつたら、此が現世の見納めであらう、此納の務きるまで、熱くお顔を見て置かうとの希望が雲の如く胸に起る、それが通じたらしく、初瀬は鋭く目を開いて

『桐島どの、御心配を掛けますの』と心持ち首を捻ぢて云つた

『いゝえ、あなた、思ふやうな御介抱も爲きませんで、氣の毒に思ふばかりでございます、橋本のさきの神主路とか申す處に、大さう好いお藥があるさうでございますから、是から調へに行つて參ります、お淋しくともお待ち遊ばして下さいまし』

『親切に、添い、然し、神主路と申すは遠方ぢやござらぬか』

『つい近くださうでございます、吉野川を渡りますと、僅か二十丁足らずと聞きました、つい歸つて參ります、宗之助殿御病人を頼みますぞや』

『お藥なら、わたくしが行つて參ります、あなたはお後で御介抱を爲なすつて下さい、御女中に遠路を踏ませては濟みません』

『なに、あなた、橋本はつい兄わて居るではございませんか、親切なお方が御案内を爲すつて下さるからでございますから、一走りに行つて參ります』

『御厄介を掛けますのう』

と云つた初瀬の目には、熱い涙がほろりと出た

『では、一寸行つて參ります』

下を向いた桐島の目皮にも、露の珠が提顆も置かれる

『氣を付けて行らつしやいまし』

宗藏が引張られるやうに云ふのを、桐島は振り切つて、そのまゝ病室を驅け出した

門口に當家の内儀が稀の徳を抱いて待た、桐島に側へ寄つて

『お内儀さん、御相がけます』と鄭々しく挨拶けた

日報俳壇

□新年吟詠草（冰）

軒毎に桶の凍干す氷かな
朝毎にタワシ凍りし捨水哉
醉醒の香快よき氷かな
溫突の軒に光れる垂氷哉
古池に庭の竹立つ氷かな
一寺指して湖の氷を渡り哉
湖の濱に氷積み居る牛車哉
密獵の舩氷山に隠れけり
鎖す戸の氷に陽射す二階哉
氷破りて衣濯ぎ居る女哉
氷る田に朝日出る景
月に氷の光る湖山かな
一群の驛馬が渡る氷哉
氷上に火赤照る小窓哉
旭小さく淡ふ池の氷かな
馬を驅る途着く氷哉
逆の枯葉に夕映ゆる氷哉
大江に氷流るゝ響かな
樹の枝に氷柱輝く寒かな

□川城畔樹藤草（公州）

初東風や簾樓に流れ飛ぶ
初風に小川相搏きゝら浪
初鷄に灯點す土間の濁り哉
初東風に瞬く納戸灯シ哉
面長の日語おりな年賀哉
貨殖疎む家の系圖や壽草
鵲の喧ぎ騒ぐ峰の初日哉
繪馬堂に繪馬並べたる午春
庫に影して來る禮者哉
坂に來て打ちたる初荷哉
元朝の太鼓打ち出る峰の宮
初鷄の喇鳴きを聽く梅哉
歳事記に親む事や今朝の春
波が砕り騎始する馬迎哉
林間に海が光るや騎馬始

香方宵茶靜同竹同同晴峯要玉翠紅千汀紫同烏同花一
孤同空同兀同波鮑不友孤一可未き
女刀舟佛山萍醉石山　香　堂　仙水嵐劍月　風　草村侘天誰子代幽幽　暁

□俳軒へ寄す　君の御技術に入れるを喜びて　東山

俳堂の日向に咲くや梅の花　寶劍
○
寸圃く崩垂れ姿束風吹かむ　〇魚骨來る　醉軒
鰯燒いて魚骨を過す多の雨
○
多の空獸々として鑛山の幸探る　句平

新刊紹介（到着順）

▲ホトヽギス　二百五十八號の二月號である、例によつて小出樗翁氏の表紙圖案、[illegible]

▲朝鮮彙報（二月號）[illegible]

▲朝鮮時論（二月號）[illegible]

▲活動寫眞雜誌（三月號）[illegible]

▲實業界　[illegible]

▲朝鮮商業見聞（二月號）[illegible]

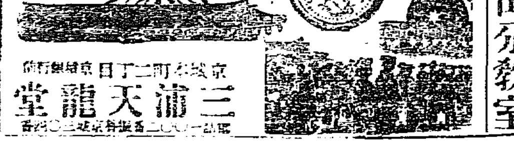
▲時の人（創刊號）人物中心の時事評論を[illegible]

▲勞動新報（三月號）[illegible]

讀者の領分

▲警察が京城市中の料理店に對して發したる注意の中に線香の付著きを爲すべからずといふ事項があつたのは痛快だ、小料理屋に在つては大痛棒だらう、希くば警察の取締りの厳ならんことを望む（新來生）▲過日來仁川商木病院の幽靈を捕へ一葛闘贊はうと夜な／＼數多の人々と謀んで居るが、若は棒やステッキでは捕へる事は出來ぬ、即ち靈は靈の力を以て見ねば見れぬ物であるのだ、果して西村の如きが居ると云ふなら靈來博士に見て貰へばすぐ分明する、これから時々靈につきてお話をしましやうか（ゴスト生）▲そろ／＼陽氣になつて例年の如く狂犬病が流行する季節になつて來た、此の際各犬の持主は自己の犬が狂犬病に罹つて他人に迷惑を掛けぬ樣今から安全なる方法を講じてもらいたい、さもないと昨年の樣に狂犬が澤山出ると恐ろしくて外出が出來なくて困る（恐犬生）

無病長壽を希ふ人は
然して津村兄弟商會の
人參エキスを
知らざる人あらず人參エキスに
親しむ方に一生健全也
京城本町一丁目　津村兄弟商會

時計貴金屬寶石輪眼鏡商

京城本町二丁目　三浦天龍堂

生徒募集
今年四月入學セシムベキ第一學年生徒約五拾名ヲ募集ス詳細ハ一月二十五日以降ノ京城日報ニ掲載ス
京城本分教室
京城中學校　大正七年二月
大田分教室

流行燈籠▽
特價金九圓也
[illegible]
京城日報社代理部

[illegible]

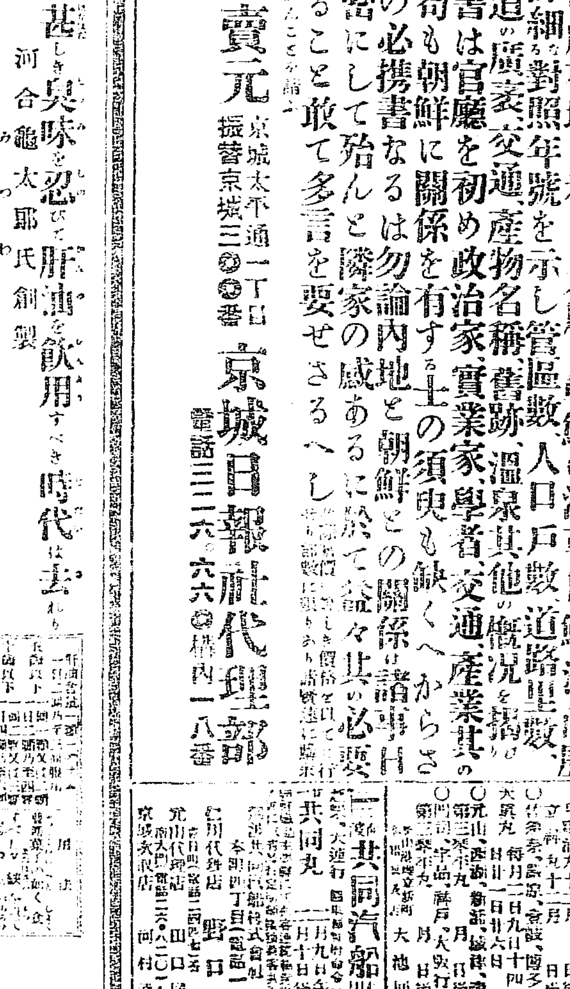
貸病院
京城明治町一丁目
電話二四番
内科　小兒科
入院隨意
無料施療す
毎日五名を限り
醫學博士　古城憲治
岡山醫學士　上野亮藏

白神洋行
鐵材、鋼材、浪板、平板、針金、洋釘
ペイント、油類一切、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル、帶革、ロープ、機械、工具、其他
新田帶革總代理店
京城

司法大臣　松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士法學士　加古貞太郎先生序文
韓國時代顧問官　小笠原覺先生序文
法政大學校友　越智唯七編纂
新舊對照　朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
大正七年一月一日現在・正誤表附・總クロース金文字入・菊版千百五十頁・定價金三圓郵税十八錢
朝鮮に精通せんとするものは勿論參考上將又執務上一日瞭然たるの書籍なく此不便を感ずるもの多し、本書は道府郡島廳及面事務所の所在地を示し、一目瞭然たらしむ、又尾に朝鮮の沿革、日鮮清、西曆の詳細なる對照年號を示し、管區數、人口戸數、道路里數、各道の廣袤、交通、産物、名稱、舊跡、溫泉、其他の概況を揭げ、本書は官廳を初め政治家、實業家、學者、交通、産業其他苟も朝鮮に關係を有する士の須臾も缺くべからざるの必携書なるは勿論內地と朝鮮との關係日に密にして殆んと隣家の感あるに於て益々其の必要なること敢て多言を要せざるべし
發賣元　京城太平通一丁目　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話三二六・六六〇番　構內一八番

滋養強壯料
專賣特許　本邦及英國特許
▽甚しき臭味を忍びて肝油を飲用すべき時代は去れり
河合龜太郎氏創製
◎肝油ドロップス
◎肝油ドロップス　肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る滋養強壯料なり
◎複方肝油ドロップス　肝油の含量を半減して、有機鐵。有機燐及び石灰。規那等を含有せしむ
定價　[illegible]

▽如斯人は滋養料◎複方肝油ドロップスを用ふべし
一、顏の色が蒼白くて艶の無き人。
一、皮膚の紋理が惡く、ザラ／＼して居る所謂あれ性の人。
一、身體一般に貧血して何と無く弱く感冒に罹り易い人。
一、日暮から物が見ねぬ夜盲、及び營養不良から來た眼病の人。
一、手足が冷て寢られぬ人。
一、色が蒼くて肉瘦せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒。
一、頸が細長く、頰が瘦け、咳嗽や痰の人並より多く出る、所謂結核素質のある人。
一、結核に罹つてゐる人。
一、骨の故障、即ち佝僂的の人。
一、其他色々の骨病に罹て居る人。
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人。
一、身體一般に脂肪氣の少き人。
一、病後及び産後の元氣を速へ回復して壯健になりたい人。



（實物寫眞）

ミツワ石鹸　◎　ミツワ家庭藥
東京市日本橋區橘町四丁目　丸見屋商店　營業部電話特許浪花三四四、八四四、九四四、四五〇　振替東京一七〇一番

大阪商船株式會社　汽船出帆廣告
仁川出帆
◎神戸大阪行（經由地一）
大信丸　二月十二日　午五時出
大吉丸　二月十六日　後五時出
○木浦、釜山、巖原、下ノ關、長崎行
安東丸　二月十四日　後二時出
安東丸　二月十七日　後二時出
×大連行
安東丸　二月十一日　正午出
安東丸　二月十四日　正午出
◎西湖津、鎭南浦行
安平丸　二月十一日　後九時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
安平丸　二月十九日　後九時出
◎上海、芝罘、打狗行
基隆丸　二月十日　後四時出
湖北丸　二月廿八日　前六時出
內地各港並出行
◎南米行　毎月一回
◎北米行　毎月一回
◎濠洲行　毎月二回
◎南洋行　毎月一回
大阪商船株式會社仁川支店
京城切符發賣所
[illegible]

日本郵船仁川出帆
◎大連行　秦皇島行
相模丸　二月十九日
山東丸　二月十十日
高砂丸　二月廿八日　正午出
仁川代理店　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
下ノ關、大阪直行
姫吉丸　二月十一日後四時出
大有丸　二月二十日後四時出
君代丸　二月十二日後四時出
神代丸　[illegible]
仁川代理店　高杉回漕部

釜山汽船廣告
◎門司、神戸、大阪行
新鮮丸　二月[illegible]日後五時出
◎元山、清津、雄基行
新昌丸　二月[illegible]日後五時出
◎新浦、仁川、京山行
第一　毎月[illegible]日後十時出
大興丸　日卄一日卄六日卄九日、十四
◎門司、宇品、神戸、大阪行
第一、第二　[illegible]
仁川代理店　大池回漕部

共同汽船仁川出帆
◎大連行
共同丸　二月九日午後八時
[illegible]
仁川代理店　野口商會

寫眞製版部
京城日報社寫眞製版部

朝鮮郵船出帆
◎京城、鎭南浦、新義州行
第一成鏡丸　二月九日
京城丸　二月九日
高商丸
◎元山より北鮮各地經由雄基行
元山丸　二月八日
慶城丸　二月一日
穩城丸　二月一日
京城丸　二月一日
忠清丸　二月一日
商運丸　二月一日
元山發
◎大阪行（釜山門司經由）
平安丸　二月一日　釜山發
◎元山より釜山間行
京畿丸　二月十六日　元山發
第二高運丸　二月一日
成鏡丸　二月一日　元山發
◎元山より鬱陵島寄港
忠清丸　二月一日
◎元山より釜山間行
咸鏡丸　一月一日
◎浦項行（長生浦、方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸　每日　釜山發
◎濟州島行（西歸浦）
昌平丸　一月一日　釜山發
◎濟州島行（城山浦經由）
濟州丸　一月一日　木浦發
◎西海岸航路
多海丸　毎日　釜山發
統營丸、巨濟丸
◎木浦より多島海行
南陽丸　三日目毎ニ　木浦發
◎仁川より多島海行
慶興丸　二月一日　木浦發
◎仁川より鎭南浦行
仁川丸　二月一日
晋州丸　二月一日　仁川發
◎濟州行（江華島經由）
全羅丸、南陽丸　毎日　仁川發
◎三十日間休航
江原丸　一月一日　仁川發
◎大邱行
咸平丸　一月一日　元山發
本社　京城南大門通
[illegible]